

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
登別市	登別市	平成 23 年度～平成 27 年度	平成 23 年度～平成 27 年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成21年度)	目標 (割合※1) (平成28年度) A	実績 (割合※1) (平成28年度) B	実績 B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	8,298t	8,298t (±0%)	7,843t (-5.5%)	94.5%
	1 事業所当たりの排出量	4.33t	4.33t (±0%)	4.65t (7.4%)	107.4%
	家庭系 総排出量	11,089t	10,315t (-7.0%)	10,244t (-7.6%)	99.3%
	1 人当たりの排出量	212kg/人	204kg/人 (-3.8%)	209kg/人 (-1.4%)	102.5%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	19,387t	18,613t (-4.0%)	18,087t (-6.7%)	97.2%
	その他 (白老町排出量)	816t	758t (-7.1%)	6,451t (690.6%)	851.1%
	その他 (直接処理量) ※2	1,395t	529t (-62.1%)	1,286t (-7.8%)	243.1%
その他 (下水道・し尿汚泥)	3,285t	2,800t (-14.8%)	2,987t (-9.1%)	106.7%	
合 計 事業系家庭系総排出量合計 (合計 事業系家庭系総排出量合計) ※3	24,883t (23,488t)	22,700t (-8.8%) (22,171t) (-5.6%)	28,811t (15.8%) (27,525t) (17.2%)	126.9% (124.1%)	
再生利用量	直接資源化量	1,536t (6.2%)	1,587t (7.0%)	1,582t (5.5%)	99.7%
	総資源化量	3,507t (14.1%)	3,581t (15.8%)	3,214t (11.2%)	89.8%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	- MWh	- MWh	- MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	20,453t (82.2%)	18,638t (82.1%)	24,220t (84.1%)	129.9%
最終処分量	埋立最終処分量	2,500t (10.0%)	2,081t (9.2%)	2,712t (9.4%)	130.3%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※2 その他 (直接処理量) は、最終処分量を減量化するために燃やせないごみ及び粗大ごみの破碎処理をして取り出した可燃物の量

※3 事業系家庭系総排出量合計からその他 (直接処理量) を除いた数値

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみ減量・リサイクルの普及啓発活動	登別市	ホームページの活用、普及啓発冊子の発行、広報紙による啓発及び各種団体への啓発活動によりごみの減量化に努める。	H23～H27	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや広報紙によるごみの減量化やリサイクルの情報提供を行った。 ・普及啓発冊子として「ごみの発生・排出抑制と再生利用の行動指針」を発行した。(H26) ・市職員出前フリートークの実施
	12	ごみステーションへ排出前のリサイクル活動	登別市	集団資源回収、生ごみの堆肥化の定着及び「不用品ダイアル市」等による不用品の有効活用を推進する。	H23～H27	<ul style="list-style-type: none"> ・集団資源回収を実施している団体に奨励金を支給した。登録団体：85団体 (H28) 回収量：1,335 t (H28) ・市が主催するイベントで生ごみ処理機の展示を行った。 ・「不用品ダイアル市」及び再生展示品の提供を実施した。
	13	ごみステーションへ排出前のリサイクル活動	登別市	「資源回収団体奨励金支給制度」及び「不用品ダイアル市」等のリサイクル活動の啓発・普及促進に努める。	H23～H27	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等を通じて普及啓発を行った。
	14	ごみ有料化の実施状況	登別市	家庭系一般廃棄物の有料化により、発生抑制に努める。	H23～H27	<ul style="list-style-type: none"> ・有料化を継続し、ごみの発生抑制に努めた。
処理体制の構築、変更に関するもの	21	分別収集運搬	登別市	中間処理施設での再資源化・適正処理が高まるよう分別収集の徹底を推進する。	H23～H27	<ul style="list-style-type: none"> ・正しい分別収集の徹底のため、中間処理施設の見学、広報紙での特集及び市職員出前フリートークを行った。
	22	ごみステーション設置管理	登別市	今後の資源ごみの対象品目の拡大等に伴い、排出方法の見直し並びにごみステーションの適正配置を検討する。	H23～H27	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ごみの排出方法については、検討を行ったが実施には至らなかった。なお、ごみステーションは、適正配置に努めた。

	23	収集運搬体制	登別市	地域のクリーンリーダーの協力のもと、排出方法の周知や排出マナーの向上に努め、地域の環境美化の推進を図る。	H23～H27	・排出方法等の知識向上のためクリーンリーダー研修会を実施し、正しく分別されていないごみの排出削減に努め、地域の環境美化を図った。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	ごみ焼却施設に係る基幹的設備改良事業	登別市	老朽化により、各設備機器が劣化し機能低下が進んでいる。使用限界水準に達する前に適切な保全を行い、基幹的設備の更新を図ることによって、既存施設の長寿命化、財政支出の縮減が重要であることから、長寿命化計画を策定する。	H23～H23	・長寿命化計画の策定を行った。(H23)
その他	41	不法投棄防止啓発事業	登別市	近隣市町との広域連携事業として、不法投棄の防止・抑制を図るため、関係機関等と連携し市民や事業者等への意識啓発を推進する。	H23～H27	・毎年度開催されている胆振・日高地域廃棄物不法処理対策戦略会議に出席し、不法処理の情報交換等を行った。 ・西胆振の6市町による合同一斉不法投棄パトロールを実施した。
	42	廃棄物処理に係る相互支援	登別市	災害時等における一般廃棄物の円滑な処理を広域的に行う。	H23～H27	・近隣市町及び西いぶり広域連合と相互支援に係る協定を結んでおり、実績として平成27年度に室蘭市で発生した一般廃棄物の処理を行った。
	43	ノーレジ袋運動の推進	登別市	消費者、事業者及び行政が一体となってレジ袋の排出抑制について取り組むことを目的として、協定の締結。	H23～H27	・事業者、消費者協会、行政により締結した「レジ袋削減に関する協定書」に基づき、協定を締結した事業者はレジ袋の無料配布の中止を実施。また、市はホームページ等においてマイバック運動を啓発している。

3 目標の達成状況に関する評価

当市と広域処理を行っている白老町では白老町バイオマス燃料化施設の稼働に伴い、平成 21 年度以降「燃やせるごみ」の広域処理を中止していたが、同施設の事業計画の見直しにより今回の計画期間中である平成 26 年度より「燃やせるごみ」の一部について本格的な受入れを再開した。その結果、当市の目標の達成状況は、各施策を実施したこともあり概ね目標を達成したが、白老町の「燃やせるごみ」の広域処理再開に伴い目標に及ばない項目があった。

今後は、登別市一般廃棄物処理基本計画及び白老町ごみ処理基本計画に基づき、ごみの減量や資源化等の施策を推進して、さらなるごみの発生・排出抑制及び再生利用の促進に努めていく。

(都道府県知事の所見)

ごみ処理において、登別市の事業系及び生活系排出量、再生利用量、減量化量は目標を達成しており、白老町からの計画の 8 倍以上の受入ごみ量が排出量合計、最終処分量の目標未達成に繋がっていると考えられます。

平成 28 年度でごみ処理排出量の 2 割以上を占めており、白老町と協力して施策を進める必要があります。